

## 「社会調査実習報告書」に関して

「本報告書の特徴」(p.4)でも述べられているように、社会科学分野の大学生に関する調査は東京大学教育学部比較教育社会学コースにおける「社会調査実習」の授業で、学生がコースのスタッフの指導を受けながら実施したものです。学生たちは調査データを自ら分析、執筆し、報告書(東京大学教育学部比較教育社会学コース編『大学生なう。ー全国の社会科学分野の大学生に関する調査報告書』、以下「社会調査実習報告書」と表記)にまとめています。本報告書の「調査概要」(p.6)と学部生4名の原稿は、その「社会調査実習報告書」の内容に加筆・修正を行ったものとなっています。

\*本報告書と「社会調査実習報告書」で、データの処理を若干変更している部分があるため、数値が正確には一致しない箇所があります。

「社会調査実習報告書」の執筆者及びテーマは下記のとおりです。

- 榎本 麗美 大学生の国際意識形成における大学教育の役割ー大学の「国際教育」に意味はあるか？
- 富田 知世 大学・高校での授業経験と大学生の能動的学習行動ー大学におけるキャリア教育と高校における課題探究学習に着目して
- 沼 穂高 大学生の国際意識ー英語ができない日本人は国際人になれるのか？
- 山本 達人 大学教育の職業的レリバンス認知の規定要因と効果ー高校時の学習経験と汎用的職業技能を形成する大学教育の差異に着目して
- 渡辺 成美 大学での部・サークル活動への積極的参加度から「資源」不足の学生の救済を考えるー大学への愛着と大学の学習支援に注目して
- 秋元 政則 「社会人基礎力」の形成と就職活動に対する課外活動の意義ーメンバーシップ要求型授業との比較から
- 大槻恵利佳 目指した資格種別の就職活動結果への影響ー就職に有利な資格とは
- 徳田 政隆 就職活動における体育会効果の検証ー体育会系学生はなぜ就職に有利になるのか
- 林川 友貴 採用・就職プロセスにおける「人間力」の正当性ー階層間公平性と測定の確実性の観点から
- 横井 瑠衣 望ましい就職結果を得るのは誰かー主体性か学問の習得か、キャリア教育か職業的意義のある教育か
- 荒川 智美 女子学生のライフコース希望と階層上昇アスピレーションー高学歴の結婚相手か、就業継続か
- 高津 桜子 大学生の「地元志向」ー仕事への志向性から、その規定要因を読み解く
- 中川 宗人 不況期における大学生の職業観のゆくえー大学教育は影響を与えるか
- 川畑 東陽 違法薬物を許容する大学生ーその性質と原因
- 工藤 悠生 大学生はアルバイトで何を得たと感じるかー大学の選抜性と職種に着目して
- 藤井 和葉 社会科学分野の大学生の投票義務感ー大学・多様な場と自己中心主義による視野の広がりの違いから
- 飯村 春薫 大学生の積極的転職志向の形成ー保護者と大学生活の狭間で
- 小野 倫裕 親子間の空間的距離と親子関係ー男子学生にはお金ではなく洗剤を持たせて家から追い出せ！？
- 澁谷功太郎 男子学生の恋愛・性愛観と能力の関係性ーみんなまとめて「草食男子」って言うな！！
- 吉田 瑛紀 iPodの社会学ー携帯型音楽機器の使用が対人意識に及ぼす影響
- 渡邊 葉月 大学生のSNS利用と友人関係ー閉鎖性を促進するメディア・ツールとしてのmixiに着目して